

ビッグスターが勢ぞろい! 丹波竜フェスタ 2016 ~恐竜 の生活を探る~

12月11日丹波竜化石工房ちーたんの館周辺で、丹波竜フェスタ 2016 が開催され、約 2,000 人の来場者でにぎわいました。恐竜の卵化石研究の世界的パイオニア、ダーラ・ザレニツキー氏、世界の恐竜研究の第一人者である小林快次氏など 4 人の専門家が集まり、基調講演を行いました。

講演後には、子どもたちから研究者顔負けの質問が投げかけられ、講師陣も真剣な表情で答えていました。周辺では化石発掘体験やグルメ屋台なども出店し、参加者を楽しませていました。



グルメ屋台やアトラクションが並ぶ会場



会場の一人ひとりに語りかけるようなダーラ・ザレニツキー氏の講演



恐竜のアトラクションを楽しむ参加者たち

手話奉仕員養成講座入門課程終了 学んだことを手話劇で発揮

初心者向け手話講座「丹波市手話奉仕員養成講座入門課程」全 20 回が終了しました。期間は、昨年 7 月～12 月までの約 5 ヶ月間。今年初めて開講した昼の部・夜の部合わせて 65 人の方が、自己紹介や日常会話の手話を楽しく学びました。

「基礎課程を受講したい」「サークルに所属して交流をしたい」など、受講者は今後も積極的に手話奉仕員としての活躍を誓いました。



おむすびころりんの手話劇を披露する受講生

若松の日本 3 大産地 正月を彩る生花松

12月28日、山南地域の若松生産者会から正月を彩る生花松とアレンジメントフラワーの寄贈を受けました。若松は種をまいてから出荷できるまでに 4 年もの歳月を要し、寒暖差の大きい気候が、深みのある緑を生み出します。

広瀬正純生産者会会長は「若松の 3 大産地であることを知って欲しい。今後も安心して若松を育てられる環境をつくりたい」と話しました。



生産者会から若松の新年飾りを受け取る谷口市長

春日神社 初代福女は 外川楓華さんと佐野伶奈さん

1月10日、春日神社（春日町野村）で「福男選び」「福女選び」が開催されました。今年は「福女」も決定。地元青年会が企画する同神社御旅所付近から本殿までの約 230m を全力で走り、最も速かった人を「福男」「福女」としてたたえる催しです。

初代福女は外川楓華さん（小学生の部）、佐野伶奈さん（一般の部）。小学生の部 14 人、一般の部 31 人の中から選ばれました。



福女をめざし境内を走り抜ける参加者たち

Challenge! 英語スピーチコンテスト

12月10日に、柏原住民センターで「中学校英語スピーチコンテスト」が開催されました。

「Challenge! (チャレンジ)」をテーマに、市内各中学校 2 人の代表者が約 3 分間のスピーチを行い、自分の経験や将来の夢などを発表しました。

優秀賞に小橋憧太朗さん（春日中 3 年）、高見茜さん（春日中 3 年）、足立愛佳さん（青垣中 3 年）の 3 人が選ばれました。



身振り・手振りを交えてスピーチする高見茜さん

黒井城跡でご来光 元旦登山に挑戦

1月1日、黒井城跡には初日の出を見ようと集まった約 300 もの人でにぎわいました。

家族連れや友達同士、地域の方々が集まり、新年のあいさつを交わしながら山に登り、山頂をめざしました。

参加者たちは、黒井城跡から望む初日の出や美しい雲海を眺めたり、写真に収めたりしながら、新年の訪れを祝いました。



黒井城跡から望む初日の出（写真提供：市民リポーター 山本雅春さん）

前山小学校 防災学習発表会

12月13日、前山小学校の 3・4 年生が防災学習の発表会を行いました。丹波市豪雨災害からの復興の取り組みについて調べ、全校児童や保護者、地域住民の前で発表しました。

災害にかかわるボランティア活動や砂防ダムの整備状況、アジサイプロジェクトのほか新たな栗園の整備など、復興事業について自分たちの言葉で分かりやすく伝えました。



砂防ダムについて説明する児童